

議会報告会 会場報告書

担当班：第2班 班代表者：稲山 悟

概 要			
地区名 : 多紀地区 日時 : 令和8年5月14日(木) 場所 : ハートピアセンター 参加人数 : 18人(男18人・女0人)	【出席議員】	(1) 開会あいさつ : 稲山 悟 (2) 質疑応答 : 堀毛 宏章 (3) 意見・提言等 : 堀毛 宏章 (4) 閉会あいさつ : 桐村 裕一	挨拶・総括 : 稲山 悟 司会進行 : 堀毛 宏章 記録・受付 : 渡辺 拓道 降矢 杏奈 桐村 裕一 会場(マイク) : 岡 圭子

【主な質疑】

質疑・意見(第一部 議会報告について)	回 答
質疑・意見なし	

担当班：第2班

班代表者：稲山 悟

A 参加者からの意見や課題

地域防災

- ・有線放送は「音が大きい」「加入率低下で維持困難」「必要性が薄い」と賛否が分かれる
- ・大きな災害が少ない地域で危機感が薄く、防災意識が十分に高まっていない
- ・東部地域は消防車の到着が遅く、消防団への依存が大きい
- ・消防団員の高齢化・昼間不在・人員不足が深刻
- ・消防署が老朽化・狭隘で、職員数も不足している
- ・東部地域の人口減少・少子高齢化が防災力低下の根本要因
- ・ため池、砂防堰堤、有線放送など基盤施設が老朽化している

地域医療

- ・診療科の減少に不安がある
- ・「専門医を増やす」より「かかりつけ医が適切な専門医につなぐ仕組み」が求められている
- ・通院手段が乏しく、近隣住民の“乗せ合い”に頼っているが、事故時の責任が不安
- ・往診の利用者は少ないが、必要性は高い

B 参加者からの対策や解決するために必要なこと

地域防災

- ・有線放送の継続可否についてアンケートを実施し、将来の仕組みを検討する
- ・防災広報を強化し、住民の危機意識を高める
- ・消防団の人員確保（女性団員の増加など）と消防署の建替え・職員増員が必要
- ・農業の収益化（豆・米以外の作物、三毛作、兼業農家支援）を進め、若者の定住を促すことで、人を増やし防災力を高める
- ・地域に適した企業誘致を検討することで人口を増やす

地域医療

- ・かかりつけ医が専門医につなぐ紹介体制の強化
- ・病院への公共交通や行政が関わる移動支援の充実（のりーなの利用促進、料金の一律化）
- ・往診体制の改善と実態調査を進める

【考察】参加者の意見から見えてくるもの

- ・消防団の高齢化、医療アクセスの困難、移動手段の不足、空き家の増加など、地域の担い手不足があらゆる分野に影響するため、若者の定住促進や地域に適した企業誘致を検討することで人口を増やし地域や防災力を高める。
- ・ため池、砂防堰堤、有線放送など基盤施設の老朽化が進み、更新が追いついておらず、生活インフラの今後の仕組みづくりが課題である。
- ・医療、買い物、避難など、あらゆる生活行動が「移動手段の不足」によって制約されているため、移動支援をより充実させる必要がある。
- ・住民も「自助・共助の必要性」を認識しており、行政と地域が協働して住民の危機意識を高める取り組みが求められている。